

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

【様式集】

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 1 月 15 日 (18:00 ~ 20:00)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	12 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	6 人	6 人	0 人	0 人	12 人

前回の改善計画	利用者様お迎え時は挨拶と来て頂いた事への感謝、ご家族来所時は、挨拶とともにご対応への感謝を統一事項として出迎える。帰宅時は「今日も一日ありがとうございました、お気をつけて」を統一事項とする。勤務シフトに限ることなく送迎時間、訪問時間を工夫して新規をはじめ全利用者様と関係性構築を深めることができるよう取り組む。新規アセスメント実施時には現場職員が同行し、情報収集と共有に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者様到着後のお出迎えはできていたものの、気づけずにいることやお待たせしてしまうこともあり反省点であった。帰宅時の統一事項としての対応も不十分であった。統一事項とする対応についてどんなおもてなしが必要かよく考える必要がある。送迎や訪問への対応は多くの職員で対応することができ新規アセスメントも数あるチャンスを生かし実践することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	8	4	0	0	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	11	1	0	0	12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	10	2	0	0	12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	6	4	2	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
新規アセスメントへの同行、送迎時の出迎えなどで馴染みの関係づくりへの取り組みとして配慮することは継続の取り組みとして実施できた。また訪問等で支援に入る際の課題等もミーティング等でしっかり情報共有することで、施設利用時以外の支援についても把握でき必要な支援内容の検討や実施を行うことができた。今後家族とのコミュニケーションも密にとり関係性を深めていきたいと思う。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
お出迎えは年々、改善できているものの、気づけないことも時にはあり、不快な思いをさせてしまったこともあった。おもてなしの内容について、多様性や個性もあるため、ある程度事業所内で統一できる対応を検討する必要があると感じる。新規アセスメントや家族との面談、モニタリング訪問などのチャンスを活かすことができるよう個々の職員の経験を深めていく必要がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
利用者様にご利用に関しての「感謝の気持ち」と「おもてなし」の心が伝わる統一事項の対応について検討、実施する。(ご家族送迎時の対応、送迎、訪問時のお声掛けや対応など) また多くの職員で送迎や訪問の対応ができるよう、勤務時間や支援時間の見直しを都度行ない、新規アセスメントやご家族との面談、相談の際も、介護職員が参加することで関係性構築に努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 1 月 15 日 (18 : 00～20 : 00)
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	12 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	7 人	5 人	0 人	0 人	12 人

前回の改善計画	<p>小規模多機能だからこそゴールは「在宅」であると考え、「在宅復帰」「在宅継続」「在宅看取り」に特化した事業所としてその人の状況に応じた最終ゴールを意識する必要がある。その個々の想いをミーティングや会議にて共有をし、日々の支援に活かすことができるようケアの組み立てを行う。業務内容全般の見直しや変革を行うことでよりチームワークを意識した取り組みが出来るようにする。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>今年度も小規模多機能として「在宅復帰」「在宅継続」「在宅看取り」に特化した事業所として支援をすることができていた。施設入居となった方もいたが、個々の状況に応じたゴールを意識した支援を実施できた。利用者一人一人の想いをミーティングで共有することができたからこそ結果としてきめ細かな支援が出来ていたと思う。小規模多機能らしい支援にこれからも務めていきたいと思う。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか？	5	7	0	0	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	6	6	0	0	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	6	6	0	0	12
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	8	4	0	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>毎日のミーティング内で個々の意思や意見を共有することができ、支援や関わりを通じての課題や目標について情報交換をすることができている。今年度は病院からの在宅復帰支援が多く、在宅での看取り支援者も 1 名いて、経験を重ねることができた。在宅復帰や在宅看取りの変化の流れを、日々の職員間との情報共有の中で大切にしていきたいと思う。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>日々の個々への関わり方は意識しているもののマンネリ化してしたり、職員都合のケアとなってしまうこともある。今日も一日楽しかった、よかったと満足に思える内容が少なくなっている気がする。申し送り時間の在り方についてはさらなる検討が必要と思う。時代に即した、オンラインやシステムを活用することができ、かつタイムリーな情報共有ができる工夫の検討が必要と考える。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>引き続き小規模多機能として「在宅復帰」「在宅継続」「在宅看取り」に特化した事業所として個々の状況や状態に応じたゴールを意識する必要がある。特にその利用者様の想いをミーティングや会議にて職員間で共有することで日々の支援に活かすことができるようケアの組み立てを随時行う。引継ぎや情報システム、共有システムの見直しや変革を行うことでよりチームワークを意識した取り組みが出来るようにする。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 1 月 15 日 (18:00 ~20:00)
3. 日常生活の支援	メンバー	12 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6 人	6 人	0 人	0 人	12 人

前回の改善計画	介護技術や認知症ケアへの専門的知識や技術の取得のための勉強会を引き続き実践する。特に認知症ケアについては力を入れケアの質の向上に努める。1 日 2 回のミーティングを差別化、「会議の雰囲気づくり」を次世代リーダー職員を中心にコミュニケーションの円滑化をテーマに高めていく。それとともに「情報共有システム見直し」のため、申し送りノート等の在り方について検討、改善する。
前回の改善計画に対する取組み結果	今年度は、認知症ケアへの専門的取り組みとして認知症介護指導者や実践リーダーを中心に勉強会や研修会などを実施して向上に努めた。ミーティングの実施はほぼできていたが、会議の雰囲気づくりや次世代リーダー職員育成への取り組みは困難さがあった。今年度取り組んだ「運営責任者」の取り組みを元に全職員が働きやすい環境づくりに努めていきたい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	2	8	2	0	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	12	0	0	0	12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	5	7	0	0	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	10	2	0	0	12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	6	5	1	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
介護技術や認知症ケアの基本技術としての声にならない声に気づくという視点は年々向上している。ケアの内容や現状の課題、支援への変更点があればミーティング等で都度話し合いをすることが出来ている。認知症ケアにさらなる特化出来る事業所となれるよう勉強会や外部研修を活用していきたい。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
以前の暮らし方やご本人の生活の中でのこだわりなどを訪問等で把握するように努めているが、難しさを感じる。タイムリーに情報共有ができ、課題分析はできているが、すぐにその即した支援ができていないについては自信を持ってない。認知症ケア、専門職としてのケア向上のための意識を継続する。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
介護技術や認知症ケアへの専門的知識や技術の取得のための勉強会を引き続き実践する。特に認知症ケアについては今年度以上に力を入れケアの質の向上に努める。1 日 2 回のミーティングの差別化とシステムの見直し検討を行うことでの情報共有の在り方を検討する。「会議の雰囲気づくり」を次世代リーダー職員を中心に「コミュニケーションの円滑化」という目標、テーマに設定し高めていく。	

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 12名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	5人	7人	0人	0人	12人

前回の改善計画	
情報発信と地域へのアプローチが課題となっていると考える。広報誌の発行、他機関への情報提供、インスタグラムを活用し、プレーグあしたかの広報活動の「発信」を引き続き実施する。ケアにおいてはこれまでの生活スタイルを維持しながらサービス利用が出来るようにして、ほっと Café や地域の居場所、地域福祉の拠点となるような仕組みづくりを検討する。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
「地域活動員会」を中心に、まずは施設近隣への情報発信への取り組みとして利用者様との交流を目的に活動を始めた。感染症の影響で地域開放とまでの取り組みはまだ難しさを感じるが、運営推進会議や地域でのイベント、行事などへは少しずつ参加するように取り組んでいた。また利用者様の地域の民生委員さんとの顔合わせや相談についても少しずつ進めることができた。	

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	2	5	5	0	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	3	7	2	0	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	4	6	2	0	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	4	6	2	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
認知症の独居の方の支援が増え、地域の民生委員さんとの顔合わせや地域の方との挨拶を中心に活動することを意識した。何か困りごとのある時にご連絡いただけるよう顔の見える関係づくりに努めた。生活全般に関わり、支援する方が多くなってきたので、施設利用時以外の生活の様子も把握するように努めている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域活動委員会を中心に、地域に出向いて知名度を上げるという取り組みについては実施することができたが、施設の周辺だけで、他地区での取り組みまではまだ広げることが難しい。幅広くプレーグあしたかのことを知っていただく、情報発信するという点については今年度取り組みの薄かった広報誌の発行やインスタグラムなどSNSの活用を進めていく必要がある。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
情報発信と地域へのアプローチが引き続き課題である。施設周辺においては委員会活動の充実化と利用者様と地域との交流を図る。広報誌の発行、他機関への情報提供、インスタグラムなどのSNSを活用し、プレーグあしたかの広報活動を実施する。地域における個々のご利用者様へのケアにおいては近隣の方や民生委員さんなどとの顔合わせや連携を図り、柔軟な支援に対応できるようにしていく。	

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 12 名

◆ 前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	10 人	2 人	0 人	0 人	12 人

前回の改善計画
小規模多機能型サービスとして引き続き柔軟な対応に努め、独居や認知症、在宅復帰、在宅での看取り支援に力を入れ、事業所の特性を十分に活かしたケアを実施する。特に直近の課題として業務内容の見直しやチームワーク向上のための取り組みを実施する。また地域との連携を含めた活動を行うことで更なる知名度アップを図り、地域に根差した事業所となるようチームが一体となって取り組んでいく。
前回の改善計画に対する取り組み結果
小規模多機能型サービスの特性を踏まえたうえで、通い、宿泊、訪問については柔軟な対応が来ている。今年度は看取り支援や在宅復帰支援にも力を入れることができた。また地域活動委員会の発足を元に、地域での活動や知名度アップに取り組み始めている。まだ取り組みを始めたばかりなので定期巡回サービスとも協働して継続して実施していきたい。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	8	2	0	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	11	1	0	0	12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	10	2	0	0	12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	10	2	0	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
年度を重ねるごとに、小規模多機能らしい柔軟かつ即対応できるような支援に取り組んでいる。特に在宅復帰ケース、看取り対応や独居の方の支援に積極的に取り組むことができた。職員間でのミーティングやコミュニケーションは昨年以上に取れており、運営責任者を筆頭に全職員が積極的にケアに当たることができている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
今年度もコロナ感染予防対応が続き、夏に一度利用者職員共にコロナ対応があったため地域、施設間、施設内事業所同士での連携もほとんど出来ない状態であった。引き続き、小規模多機能が安定した経営とニーズにこたえることができるサービスであり続けるために、中期的な未来を考え、生産性向上や業務の大幅な改善を実施する必要があると考える。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
小規模多機能型サービスとして引き続き柔軟な対応に努め、独居や認知症、在宅復帰、在宅での看取り支援に力を入れ、事業所の特性を十分に活かしたケアを実施する。昨年度始めた地域活動委員会を中心に、事業所が地域で利用者と活動し交流することを目的とし、知名度アップと地域貢献に努める。また看取りケースについてはしっかり振り返りを行い、次に活かすことができる支援を深めていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 1 月 15 日 (18:00 ~20:00)
6. 連携・協働	メンバー	12 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6 人	5 人	1 人	0 人	12 人

前回の改善計画	<p>プレーグあしたかの知名度向上の為、広報誌の発行、配布、事業所へのアピールを継続して行う。また地域との連携や地域での知名度向上の取り組みの為の活動を行う。具体的には交通安全啓発や慰問やボランティアの受け入れ、ほっと Café の地域開放などの取り組みを検討、実践できるようにする。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>広報誌の発行が、例年より少なく事業所へのアピール活動を行うことができなかったが、地域での活動は委員会が先立ち、事業所職員も協力することで少しずつではあるが地域の方に知っていただく機会を設けることができた。インスタなど SNS の活用も次年度への課題である。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか?	3	3	6	0	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	4	4	2	0	12
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか?	0	12	0	0	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	0	6	6	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>包括支援センター主催のイベントのお手伝い、地域のケアマネ交流会などに参加することはできた。コロナ禍における年度に比べ外に出る機会は増えてきており、少しずつではあるが交流を図ること演芸などの楽しみの機会を作ることができるようになってきた。感染対策に留意しつつもう少し広げていきたい。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>広報誌の発行、インスタグラムなどオンラインを活用した広報については引き続き件数を増やしていき、実施方法に考える必要があると感じている。地域活動委員会での活動を知って頂いたあとは、地域交流や地域に開かれた施設を目指していきたいと考えているが、もう少し時間を要すと考えている。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>今年度開始した、施設内地域活動委員会の取り組みを、定期巡回型サービスとも協働して、地域の子供たちや地域の方々に知っていただくことができるように更なる取り組みを実施する。委員会では交通安全啓発や環境活動、事業所では慰問やボランティアの受け入れ、ほっと Café の地域開放などの取り組みを検討、実践できるようにする。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 1 月 15 日 (18 : 00～20 : 00)
7. 運営	メンバー	12 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	5 人	3 人	4 人	0 人	12 人

前回の改善計画	より良い事業所運営を行うため、次世代リーダー教育対象職員とともに、チームワークの向上、連携強化に努められるよう職員個々のスキルアップと現場リーダー育成に取り組む。定期的な勉強会と会議を実施し話しやすい雰囲気づくりと意見の出しやすいチーム作りの実践を行う。また発信力強化の為、広報担当者とともに宣伝活動をし、地域貢献や地域活動をはじめとした取り組みを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	より良い事業所運営を行うために当年度は事業所内での現場リーダー育成や職員のスキルアップに努めることができた。特に事業所運営について、管理者と協議協働することで事業所の運営に携わるという意識を持つことができた。広報担当者との連携はあまりうまくいかなかったため課題としたい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	9	3	0	0	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	8	4	0	0	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	0	12	0	0	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？	5	7	0	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
話のしやすい雰囲気づくりに努め、年々職員としての率直な意見を言えるような意識や実際が反映できている。苦情や意見をポジティブにとらえ運営に反映したりチームで都度話し合いを行ったりなど取り組みができている。毎月の会議開催など、コロナ対応において中止や延期となったことはあったが情報共有、チームケアは年々進化した形でできているため継続していきたい。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
更なる「意見の言いやすい雰囲気づくり」により、職員一人一人が気軽に意見をできることを当たり前にする。広報担当者を選任したがうまく機能することが出来なかった。地域との連携がほぼない過去だったが、地域活動委員会での活動をはじめ、オンラインやインスタグラムなどを活用し、少しずつ地域の方に知って頂ける、地域に根差した事業所を目指すことが必要であると考え。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
今年度取り組みを行った「全職員が事業所運営に携われるようにし、チームワークの向上と利用者様のケアに活かすことができる」目的の運営責任者への取り組みを継続して、全職員が事業所の運営に携わることができるようにしていく。また広報担当者の設置、委員会活動に積極的に取り組み、地域に開かれたそして必要となれるサービスを目指していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 1 月 15 日 (18:00 ~20:00)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	12 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	7 人	5 人	0 人	0 人	12 人

前回の改善計画	<p>一日一件の「気づき」を職員内で日々共有することを目指す。事業所職員として一人一人が常にスキルアップを目指し、職場内研修会の実施、可能な限りの外部研修への参加を実施し、全職員が講師となって職場内勉強会の企画・運営を行う。次年度より「認知症ケア」について、定期的な勉強会を強化し、認知症に特化した事業所となれるよう日々のケアの見直しや主治医との連携強化を図るようにする。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>「気づき」を共有できるようにミーティング等でもしっかり話し合いを行うことができた。生活における気づきは多く上がったが、事故対策や予防に際してのヒヤリハットは少なかったと感じる。認知症ケアの取り組みとしては、認知症介護指導者、実践リーダーを中心に研修会やまた実践者研修修了者を増やすことで現場にフィードバックできるよう努めることができた。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	10	2	0	0	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	7	5	0	0	12
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	12	0	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	4	8	0	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>例年に比べ、外部への研修や法人内の研修にも積極的に参加することができた。また認知症ケア実践力向上のためにも研修会や日々のミーティングなどの機会を活かすことができた。積極的に参加することで新たな知識や視点を取り入れる大切さを実感したため、チャンスを生かしていきたいと研修参加者からは貴重な意見があった。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>コロナ以降研修等もなかなか参加できないことが多かったが、特に職場内での身近なスキルアップをする機会が取りやすい為引き続きその機会を活かせるようにしていく必要がある。地域連絡会の開催はなかったが、施設独自としても地域に根差した介護施設を目指し地域活動や地域貢献に取り組む必要があると考えて、委員会活動を始めたため、継続していきたいと考えている。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>一日一件の利用者様の生活に関した「気づき」とリスクマネジメントの視点における「気づき」を職員内で日々共有する。具体的には毎日のミーティング内で2件の「気づき」を共有し、それを記録に残すこととする。また職員一人一人が常にスキルアップを目指し、職場内研修会の実施、可能な限りの外部研修への参加を実施し、全職員が講師となって職場内勉強会の企画・運営を行う。</p>	

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3 人	7 人	2 人	0 人	12 人

前回の改善計画	身体拘束、虐待がないことは当然のこととして、委員会等を中心にきちんと確認やチームでの見直しをする。介護者目線ではなく、ご利用者目線、お客様対応としてのケアが提供できるよう専門職としてさらなる向上心、また慣れにならないような危機感を感じながら緊張感ある職場環境が必要と感じる。ご利用への感謝の気持ちと言葉を忘れずに取り組み、「今日も一日楽しかった」と満足できるケアを目指す。
前回の改善計画に対する取組み結果	接遇やケアについて、専門職としての配慮や気づきを共有する機会は作ってきたが、全体的なケアの質の向上することは出来なかった。引き続き、ご利用者様に対する感謝の言葉を更に出す、直接気持ちをお伝えすることができるよう目指したい。向上心や危機感を持つことが常に必要と考え、業務改善により利用者様も職員も、毎日が満足できるような環境づくりに努めていきたい。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	12	0	0	0	12
②	虐待は行われていない	12	0	0	0	12
③	プライバシーが守られている	4	8	0	0	12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	12	0	0	0	12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	12	0	0	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束、虐待をすることもする必要のある人もいない。個人情報についてもきちんと管理できている。ケアにおいては個々のご要望や職員間でのより良いケアに対しての話し合いを行うことでリスクの少ない方法と丁寧な介護を心がけている。勉強会や研修会も定期的で開催出来ており、スタッフ一人一人の向上心はしっかり持っていると感じる。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
ありがたい言葉が行き交うがまだまだ不足していると感じ、かつ慣れも出てきているからこそ危機感の薄れがある。プライバシーに対しても完璧でなく、時折配慮出来ていない時があり、声量や場にそぐわない言葉、またなれなれしい言葉で声かけしてしまうこともある。個人情報の管理には職員同士の会話にも更なる配慮が必要であり、見直しの必要性がある。また感謝の気持ちを言葉に出す必要性も感じる。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
身体拘束や虐待防止についてはないことは当然として今後も取り扱いと共に、今年度発足した委員会活動での施設内連携と外部からの意見や評価を含め、定期的なチェック体制を保持していきたい。介護者目線ではなく、ご利用者目線、お客様対応としてのケアが提供できるよう専門職としてさらなる向上心、また慣れにならないような危機感を感じながら緊張感ある職場環境が必要と感じる。	

2024 年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 春風会	代表者	石川 三義	法人・事業所の特徴	<p>私たちプレーゲあしたか小規模多機能職員は</p> <p>○その日、その時、その一瞬の出会いに感謝して、あなたの笑顔を引き出し共に笑います。</p> <p>○あなたの力とあなたらしい暮らしを支える為、真心の専門職と One チームに努めます。</p> <p>○どんな時でも心に寄り添い、耳を傾け、優しさと温かさであなたをいつも大切にします。</p> <p>という「介護理念」にて業務運営に努めています。施設内の併設サービスとの交流や連携を図り、「在宅看取り」や「在宅復帰」など在宅に特化したサービスとして、安心して暮らしが継続できることを目指して日々のケアに努めています。開設 10 年を過ぎ、コロナ禍で減少してしまった地域交流や地域貢献を積極的に行ない、多くの方に「プレーゲ」を知って頂き、小規模多機能サービスの良さを理解して頂ける様活動したいと考えています。</p>
事業所名	小規模多機能型居宅介護支援事業所 プレーゲあしたか	管理者	渡邊 学		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	1 人	1 人	人	1 人	1 人	2 人	14 人	人	22 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<p>・ご利用者様目線、お客様対応としてのケアが提供できるよう専門職としての向上心や危機感、そして緊張感ある職場環境とする。</p> <p>・認知症ケアへの専門的知識や技術の取得のための勉強会の開催、次世代リーダー育成を含めた人材育成と、小規模多機能だからこそその柔軟な支援、そしてその発信に努め、9 テーマの改善計画についての取り組みを行う。</p>	<p>・職員の向上心や意識改善、一人一人がリーダーの意識を持ってもらうように、新規役割分担や配置換えをし、一人一人が責任を持った行動や柔軟な姿勢で支援が行えるように OJT を都度行った。また専門職としての知識向上のための勉強会を開催した。結果危機感や緊張感の中、仕事をする事ができたが、職員が忙しさや疲れなどが表情として表れてしまう事が利用者様へ伝わる場面があった。臨機応変で柔軟な支援を通しこれからも 9 テーマの改善計画についての取り組みを行う必要性を感じます。</p>	<p>・小規模の機能を活かした処遇について職員がより良い介護に前向きに取り組んでいる姿勢を感じています。</p> <p>・これからも、スキルアップに努めてください。</p> <p>・家族として頼りにしています。し、とても良くしていただいています。</p> <p>・職員さんの挨拶は元気があります。</p> <p>・昨年度よりも地域との関りが増えているかと思います</p>	<p>次年度も気持ちがとぎれることなく、一人一人が責任感とリーダーシップ・フォローアップシップの意識を持てるような職場環境を目指す。</p> <p>ご利用者様と接する際は「声をかけやすさ」「親しみやすさ」「安心感・優しさ」が感じられるように、言葉遣いや声のトーン、顔の表情をコントロール出来る様に意識すること、また職員一人の態度が部署全体の態度になってしまう事を職員一人ひとりに自覚してもらうよう、勉強会や研修会を通して技術や専門知識習得に努めていく。</p> <p>臨機応変で柔軟な支援を通しこれからも 9 テーマの改善計画についての取り組みを行う。</p>

B. 事業所の しつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・常にご利用者の目線に立って居心地の良い環境を整え、人的環境を含めた過ごしやすいケアを提供する。 ・委員会活動を中心に施設内事業所と連携し施設としての活動を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策を引き続き行い、定期的な消毒等感染症対応を行うとともに、突発的な発生においても迅速な感染症対応が行えるように勉強会や物品の管理を行ってきた。 ・法人内の委員会やCMのアセスメント、自宅でのしつらいや生活のこだわり等を多機能担当者を通して、意識改善や情報発信を行い、ご利用者が過ごしやすい、環境を整えることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デイ等のテレビが高い位置に設置されており、すべての方に見やすい工夫がされてすばらしいと思います。 ・感染症対策なので、仕方ないことかもしれませんが、消毒液の臭いが部屋から漏れているのが気になります。 ・ゆったりとした空間や清潔感を感じます。 ・玄関から入ったところに季節を感じさせる掲示板や展示物があってよいと思います。 ・家族や地域の方が訪問しやすい雰囲気があり、利用者にとっても居心地の良いものと感じました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多機能職員として、自身の職責や役割担当業務を通して、ご利用者様のお気持ちやご利用者さまの視点目線を忘れずに、居心地の良い環境を整え、人的環境を含めた過ごしやすいケアを支援する。 ・委員会活動を中心に施設内事業所と連携し施設としての活動を実施する。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度発足のプレーゲあしたか地域活動委員会の活動を中心にプレーゲあしたかという施設を知って頂き、地域交流を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献活動委員会に多機能職員が参加し、プレーゲの外へ出向き、ご利用者様と一緒に、地域の清掃活動・ゴミ拾い活動を定期的に行うことができた。 また、11月からは「子ども見守り隊」の小学生の登校時における旗振り活動を定期的に行い、地域の方へプレーゲを知っていただくように地域との密着度を深める活動を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会の活動報告を聞いて、今までよりも地域との交流が行われていると感じます。 ・いい活動がこれからも続けられるように、無理なく行うこと、持続性が大事だと思います。 ・続けていくことで、地域に名前が知ってもらえると思います。応援しています。 ・利用者さんの旗振り活動もやってみてはどうですか？子どもたちとの交流も良いと思います。 	<p>地域貢献委員会活動に引き続き多機能職員も参加し施設内事業所と連携し、時にご利用者様にもご協力いただきながら施設としての活動を実施する</p>
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職員が利用開始前の初期段階から自宅訪問やアセスメント、地域資源の確認を行い、地域での暮らしの在り方を考え、提案できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種職員が外に出てご利用者情報収集や、新たなケア方法の提案という観点では、今年度も実施することができた。また、独居の方がお住いの地域の民生委員さ 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者さんを季節を感じられる場所へ出向いている外出支援はできていると思います。 ・これまでのようにコロナ感染症を中心に考えるのではなく、地 	<p>必要に応じ、お住いの地域の民生委員さんや、地域のキーパーソンとなる方へ個人情報の扱いに気をつけながら情報発信や意見交換を行う。隣近所の方に顔合わせ</p>

		んや、隣近所の方にご挨拶を定期的に行い、知っていただくことを地域の方のつながりを意識して行動したが、まだ発信力が足りないと感じる。	域に向けた発信や交流にも、力を入れていただきたい。 ・地域交流の積極的なイメージが持てないので、少しずつ改善ができればよいと思います。	たときに、ご挨拶を行い、なじみの関係性構築へつなげる。介護職員が利用開始前の初期段階から自宅訪問やアセスメント、地域資源の確認を行い、地域での暮らしの在り方を考え、提案できるようにする。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議には介護職員が参加し、話やすい和やかな雰囲気づくりに努める。 ・地域行事への参加を感染対策を講じた上で実施し、更に地域を理解できる機会を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・席次の検討や参加者が緊張しないような雰囲気づくりに継続して取り組んだ。利用者様にも直接参加していただき、率直なご意見をいただけた。 ・感染症の不安もあるが、今の世情を考慮し共存しながら、行事活動や地域貢献の情報を発信することの続け、多機能のことで知っていただきながら、外部の皆様の多角的なご意見をいただくことができ、新たな気づきや改善につなげることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族や、ご利用者さんの生の声が一番わかりやすいと感じています。 ・多機能での看取り支援は、地域での心配事の解消に寄与していると思います。 ・毎回多機能で行われている様々な行事活動は、会議中に感想や意見が言いやすいので、これからも活動を続けて下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議には介護職員が参加し、話やすい和やかな雰囲気づくりに努める。 ・今の世情を考慮し共存しながら、行事活動や地域貢献の情報を発信することの続け、多機能のことで知っていただきながら、外部の皆様の多角的なご意見をいただくことができ、新たな気づきや改善につなげる。 ・
F. 事業所の 防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内委員会を中心に、定期的な防災訓練を実施するとともに、策定した BCP の共有と福祉避難所運営について施設内で取り組み検討、訓練を実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な防災訓練の実施、BCP の策定、模擬訓練や対応訓練を実施することができた。 ・令和 7 年 1 月に、近隣で発生した山火事においては、プレーグ職員が地域の方と連携し、バケツリレーや消防通報を行い、迅速に連携を図ることができた。 ・策定した BCP を軸として、災害時施設が迅速、スムーズに運営できるように定期的な情報共有や、新しい情報の更新が滞ってしまうことがあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ここは、避難所としての側面もあるので、防災対策には積極的に取り組んでいただいていると思います。 ・土地柄的に、地域との合同の防災訓練は難しいかもしれないが、やれるのであれば実施を検討したほうが良いと思います。事業所を知っていただく良い機会になると思います。 ・先日の山火事の際は地域の方と消火活動をされていたのを聞いて、日ごろからの心構えや訓練をしているのを感じました。 	新しい情報や、備品の管理更新を行いながら、プレーグ全体で防災意識や地域の災害時おける拠点になるように施設内委員会を中心に、定期的な防災訓練を実施するとともに、策定した BCP の共有と福祉避難所運営について施設内で取り組み検討、訓練を実施する。

			<ul style="list-style-type: none">・台風などの際、早めに送り迎えの対応や、停電の際に、電話での確認をしていただきました。・BCP は整備されていますが、福祉避難所としての運営については、訓練をしたほうが良いと思います	
--	--	--	--	--

